

『さっきやま魂』

R3. 6. 23 第6号

発行人：校長 中山 末永

中学生に感謝！

6月17日（木）今年度初めての「中学生読み聞かせ」がありました。今回、読み聞かせを担当してくれたのは中学2年生、緊張した様子で各学年の教室に入り、いよいよ読み聞かせのスタートです。小学生が喜びそうな本を選び、それぞれ役割を分担して本番に臨んでいるようで、中学生の顔は真剣そのものです。聞いている小学生も、目・耳・頭をしっかりと働かせながら一生懸命に聞いています。読み聞かせの後には、感想を求められましたが、積極的に手を挙げて、感じたことを素直に伝えることができました。その意見を聞きながら、照れくさそうにしている中学生の姿も印象的でした。絵本を通して、中学生と小学生の心がしっかりとつながり、温かい雰囲気を感じました。小学生のために頑張ってくれた中学生に感謝の気持ちでいっぱいです。

次回は、1年生が訪問するというので、またまた楽しみが増えます。読み聞かせをしてもらっている子ども達も、やがて読み聞かせをする立場になります。感謝の気持ちがいつまでもつながり、これからも崎山のよき伝統として大切にしていきたいと思えます。



待ちに待った「プール開き」

「今日は、プールだね。」

「やった〜。」

登校する子どもに声をかけると、ニコニコしながら嬉しそうに返してくれます。

6月21日（月）待ちに待ったプール開きです。先週はずっと天気が悪く、「できないかも」と考えていましたが、週末には天気も回復し、月曜日も朝から強い日差しが照りつけていました。昼間の天気は晴れ、気温：28℃、水温28℃、最高のプール開き日和です。

昼休み中に着替えを終えた子ども達が、集合時刻よりも早くプールに集まってきます。「早くプールに入りたい」という気持ちがよく伝わってきました。

「プール開き」では、「水の中での運動なので、いつもとは違った危険がある。そのために、特別な約束があるので、それをきちんと守ることが大切である。友達とも声を掛け合いながら、全員が楽しく安全に学習し、泳ぎのレベルアップを目指してほしい。」と伝えました。

暑い中、早く泳ぎたいという気持ちもあって、集中して話を聞くことが難しいだろうと予想していましたが、真剣な表情で私を見ている子ども達ばかりで、正直びっくりしました。これからの水泳指導でも、約束や先生の指示をしっかりと守りながら、安全に学習できるとだろうと安心しました。

シャワーを浴び、2年ぶりにプールに入る子ども達は、笑顔いっぱいです。プールでは、マスクを着用していないので、その表情がよく分かります。今年、初めてのプールだったので、水慣れ・水遊びが中心の活動でしたが、十分に楽しんでいました。

これから、低・中・高学年に分かれて、10時間程度の学習を行います。子ども達にも話したように、危険を伴う学習ですから、油断はできません。常に子どもの行動に目を配りながら、充実した指導ができるように頑張っていきます。

